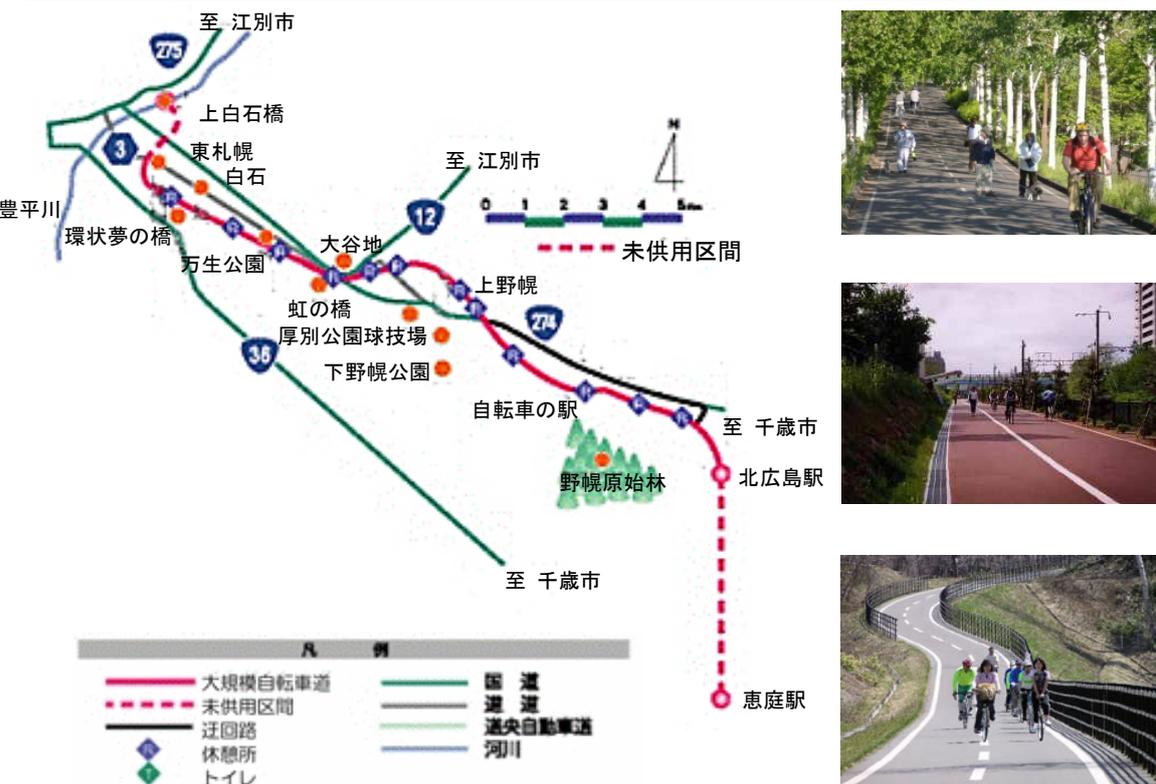


2. 恵庭工区を取り巻く環境

大規模自転車道は、全国各地で自然公園、名勝、観光施設、レクリエーション施設等をつ結び、自転車道路として、昭和48年度から整備が行われている。
 現在、道内では10路線が整備され、北海道の雄大な自然を満喫する観光レクリエーション振興、地域の生活環境の向上に大きく寄与することが期待されている。



札幌恵庭自転車道線は、起点が札幌市豊平川河川敷（上白石橋付近）、終点がJR恵庭駅として整備が予定されており、現在、札幌市コンベンションセンター付近からJR北広島駅までが供用されている。
 恵庭工区の整備区間の起点は、道道江別恵庭線の島松川橋梁を予定している。



恵庭工区における特徴は、島松川、ルルマップ川、柏木川、漁川が流れ、自然豊かな環境がみられる事のほか、整備区間からは、恵庭岳山系や夕張山系の山並みの眺望、のどかな田園風景など景観、「花と緑のまち 恵庭」を象徴するガーデニングの街並みといった市街地景観も楽しめる事である。

【地形・地質】

- 恵庭市の地質は、大部分が火山性堆積物からなっており、地形は、全面積（294.87平方キロメートル）のうち約3分の2が森林地域となっています。整備区間は、広大な田園が広がる自然環境に恵まれた地域と、住宅団地や工業団地の有する地域となっています。

【河川】

- 整備区間には、千歳川水系の漁川、柏木川、ルルマップ川が流れています。また、恵庭市と北広島市の行政区界は、同じく千歳川水系の島松川により分断されています。

【動物・植物】

- 恵庭市の生態系は、盤尻地区の森林地帯に多く生息しています。平成15年度に恵庭市で実施された「鳥獣生息状況基礎調査（盤尻地区対象）」では以下の鳥類・ほ乳類が確認されています。

分類	確認種数	主な確認種
ほ乳類	5目 9科 13種	エゾシカ、キタキツネ、エゾユキウサギ、エゾヒガメ、エゾリスなど
鳥類	14目 35科 84種	オジロワシ、オオタカ、チョウヒ、シジュウカラ、ウグイスなど

※盤尻地区以外の平野部、農村部では、ハクチョウなどのガン・カモ類や平地を好む鳥類など生息種数は100種を優に超える鳥類が生息していることがわかっています。

- 北海道自然環境等保全条例や恵庭市水と緑のまちづくり推進条例では、住民の休養や都市景観上保全することが必要と認められるものを保護地区・保全地区や保全樹木として指定しています。

名称（整備区間周辺地域を抜粋）	所在地	指定内容
下島松環境緑地保護地区	島松旭町3丁目	広葉樹針葉林 0.56ha
島松神社環境緑地保護地区	島松本町4丁目	境内林 0.76ha
中恵庭公園環境緑地保全地区	上山口	樹林地等 1.1ha
開拓記念公園環境緑地保全地区	南島松	樹林地等 1.1ha
中恵庭出張所前保護樹木	中央	イチイ
恵み野森公園保護樹木	恵み野北6丁目	リギダマツ 2本
夜漁公園緑道保護樹木	南島松	ハルニレ

【景観】

- 整備区間は、遠くの山並みの眺望やのどかな田園風景など自然豊かな景観と、ガーデニングに力を入れている住宅が多い恵み野地区など、花と緑の市街地景観が楽しめます。

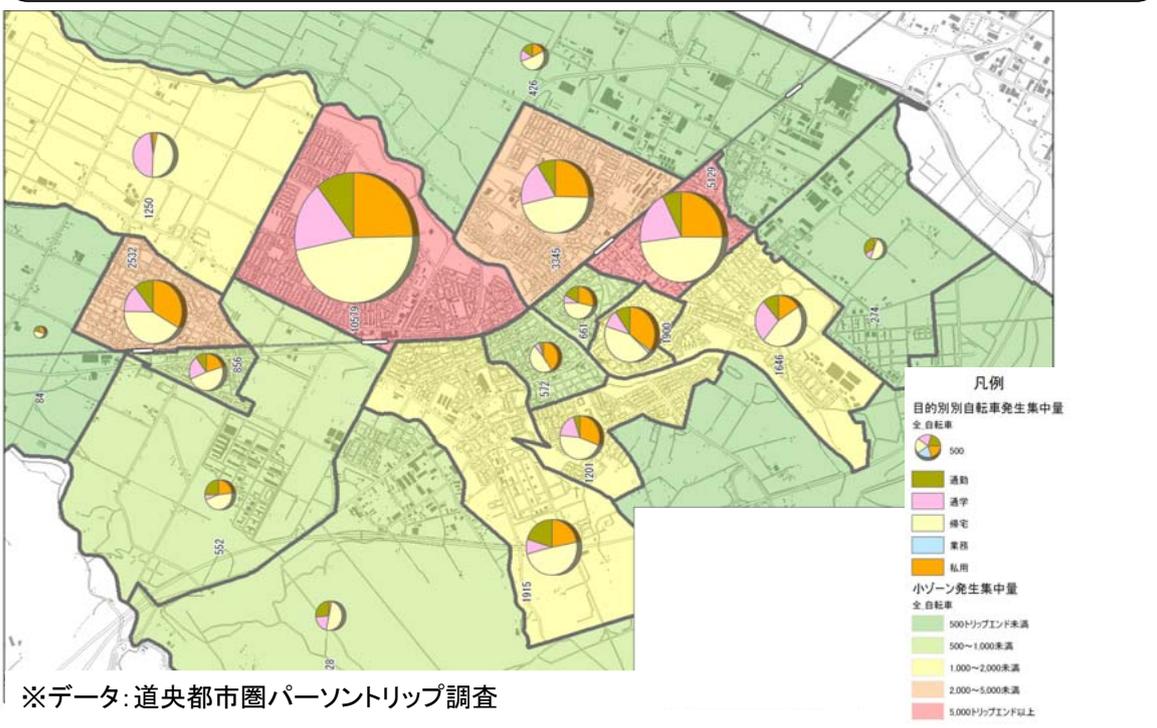
【検討対象区間の自然環境】

資料/恵庭市緑の基本計画

花ロードにも

雄大な農村景観

恵庭市における自転車利用は恵庭駅周辺、恵み野駅周辺、恵庭北高校を含むゾーンで比較的高く、その目的では「帰宅」、「私用」、「通学」が多いことであった。



恵庭駅から北広島方面へ繋ぐ恵庭工区のルートに関する意識調査（調査実施主体：北海道 空知総合振興局 札幌建設管理部 千歳出張所※）を平成 19 年秋に実施し、調査結果を分析した結果、「恵み野緑地付近を通るルート」を希望する人が多かった。評価の要因としては、安全性を重視している点であった。

道道札幌恵庭自転車道線の概要

□ ルートA: 国道36号、道道江別 恵庭線沿いを通る

- ・建設に掛かるコストが少ない
- ・交通量が多く、車との交通事故の危険性、騒音等がある

□ ルートB: 恵み野緑地付近を通る

- ・市街地なので、周辺人口が多い
- ・緑地付近なので、自然もある
- ・コストが高くなる可能性が高い

□ ルートC: 漁川沿いの郊外を通る

- ・郊外を通過しており、景観が美しい
- ・恵庭市民にとってのアクセス性が劣る



意識調査とAHP分析のまとめ

- 提示した3案のルートでは、ルートBを希望する人が多い
- 評価要因では安全性を重視
- AHPによる総合評価
 - 安全性でルートCが優れている
 - ルートBとCの拮抗
- ルートBがどこまで安全性を高められるか？

※AHP: 主観的判断とシステムのアプローチを上手く融合した問題解決型意思決定手法である階層分析法

ルートを議論するにあたって

- 自転車道をどのように利用するか？
 - 日常生活(通勤、通学、買い物、私用)
 - レクリエーション
 - 多くの市民に利用してもらうには？
- 市外から来る人たちにどこを見て欲しいか？
 - 恵庭市としてのアピールポイント
- 想定されるルートのメリット・デメリットの整理
- 参考事例としての北広島の状況
- 恵庭市の交通まちづくりにおける自転車の位置づけ